金融商品専門委員会（ヘッジ会計）における検討状況について
ディスカッション・ポイント

1. 専門委員会での審議状況

1) 2010 年 12 月 9 日、IASB から金融商品改定プロジェクトの第 3 弾として、「ヘッジ会計」の公開草案が発行された。コメント期間は 90 日間（期限：2011 年 3 月 9 日）。2011 年 6 月に最終基準書化される見込み。

2) これまで 1 月 13 日、25 日及び 2 月 22 日の金融商品専門委員会、並びに、1 月 21 日及び 2 月 3 日の本委員会でコメント作成方針及び文案を審議してきた。

2. ディスカッション・ポイント

1) コメント文案（最終案）を審議する。

2) 2 月 4 日の事前送付案からの主な修正点は以下のとおり。

項	Q	テーマ	主な修正点
全　体			各質問とも結論を先に記載する。
24	4	リスク要素	「独立して識別できるとは、リスク要素に起因する部分が他から切り離して把握できることであり、これを残余部分との関係で表現すると、リスク要素の影響が残余部分に及ばないこととなる」との追加説明を挿入する。
39	6	有効性判定	ヘッジ対象を割合指定（%指定）する場合だけでなく、実額指定する場合があることを脚注で明記する。
40	6	有効性判定	「100%の有効性」という表現を削除する。
85	13	開示	ヘッジ戦略に変更があった場合にその内容及び理由を開示するよう要求する。
89	14	自己使用の例外	ED の BC213 項で定める要件の明確化を求める。
94	15	クレデリ	代替案の継続検討を要求する。 代替案２又は３を推薦する声があったことを明記する。

以　上

財務会計基準機構のWebサイトに掲載した情報は、著作権法及び国際著作権条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律並びに条約によって保護されています。許可なく複写･転載等を行うことはこれらの法律により禁じられています。